



CONTENTS

- 町議会の仕事
- 一般質問
- 決算特別委員会
- 各常任委員会Q & A
- 条例改正、意見書
- みんなの公園、編集後記

令和2年度 幼児教育センター運動会

幼児教育センターの運動会が10月3日に開催されました。当日は『コロナなんか吹き飛ばせ!』といわんばかりの元気な笑顔がグランドいっぱいにあふれていました。

町民とまちの“かけはし”を目指して

議会の内部組織として、本会議における議案審議の予備的審査、調査を行うため委員会が設置されています。

江北町議会では、議会運営委員会のほか、常任委員会として総務、産業の2委員会が設置されています。

また、特別委員会としては、予算、決算特別委員会が通常は設置されます。

本会議の付託議件について、詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会または特別委員会に審査を託しています。

また、議会での審議内容等を町民の皆様にお知らせをするため、議会広報編集特別委員会を設置し、年4回「議会だより」を発行しています。

常任委員会等の組織

総務常任委員会	三苫紀美子委員長、池田和幸副委員長等5人で構成
産業常任委員会	井上敏文委員長、坂井正隆副委員長等5人で構成
議会運営委員会	吉岡隆幸委員長、池田和幸副委員長等4人で構成

特別委員会の組織

議会広報編集特別委員会 池田和幸委員長、三苫紀美子副委員長等5人で構成

委員長報告

委員会に付託された議案や事件の審査結果や調査経過などについて、委員長が報告書を作成し、本会議で報告するものです。

本会議

定例会や臨時会において議会の議員全員で構成する議会のことをいい、委員長報告に基づき、討論を行い、採決されます。

現在10名の町議会議員が地域の代表として働かせていただいております。町民皆様からの声を伝えていくために活動を続けています。議員一同、心をひとつにし、住みやすい江北町を目指します。

町道法面の補修について

建設課長 現状では町の対応は行っていない
農地所有者での対応を



三吉紀美子
みよきみこ

議員

一般質問

議員 町道のり面洗い

流し被害発生の原因は道路側溝がない為に、直接のり面を洗う、又冠水に伴いのり面を洗う等が、考えられる。

農地の保全上、石の流失防止、道路舗装の保全のためにぜひ対策を。

過去、地元より対応を要望されてきたが、一区をすると町全体に波及するとの理由で机上に乗らなかつたようだが、町民にとって良いことが波及するのがなぜいけないのか。早急に前向きな対応を。

建設課長 現状では町の対応は行っていない。

農地の所有者対応を。

議員 町道が雨に打たれ石が出て、後々町道の舗装も危なくなるのではないか。皆の願いが入っているのを町地用としての考えを。

町長 答弁をするまで

の間に整理し、その中で検討の経過でも報告できればよかったが。

自助・共助・公助での問題解決の方法も含め、次の議会を待たず、毎月の議員例会の中でも回答したいと思う。この場で答弁できない事をお詫びする。

議員 町長の前向きな答弁に町民の方も喜ばれると思う。しっかりと討議して頂き、良い結果が生まれる事を信じている。



町道のり面状況

下水道における
不明水問題について

議員 平成28年9月
定例議会下水道特別

委員会に於いて、下水道の処理能力を超えたとの事で住民に規制要請が行われ、その要因と解決方法の問いに原因は分からない。平成30年から長寿命化計画の補助事業に乗せて対策を行うと説明がされた。

不明水が降雨時には2,500tを超える状況は年何回発生するのか。

環境課長 平成29年に2回、平成30年に2回、令和元年7月に1回と8月に2回、令和2年7月に2回発生している。

議員 平成30年3月に要対策箇所が確認されているが、その対応状況は。

環境課長 緊急ですぐ対応が必要な施設以外は優先順位の高いところから補助事業等を活用して対策工事を行っていく。

議員 上小田、佐留志地区調査でマンホール72カ所、公共枥6カ所、降雨時にマンホールから雨の漏水が1・6キロが確認されている。今後追跡調査を行うとあるが。

環境課長 カメラで管の中を見たりして管路施設の点検を実施している。併せて不明水の発見に努めていきたい。

町長 長期的なスパンではあるが、合併浄化槽はこれからの新しい時代に効率的施設で、見直しもしたい。

要支援者避難問題
について

議員 過去に要支援者の避難について町長は、動けないからこそ支援をしての避難は大きな課題で、検証したいとの回答を頂いた。

避難場所は指定さ

れるが、要支援者に対する配慮が感じられないと、声が届いている。避難情報の今後の見直しは。要支援者個別計画は78%と群を抜いているが、該当者の避難状況が全く見えていないと思う。

町長 災害対応の課題として分散避難等が考えられる。

今回福祉課は早期要支援者60名。福祉施設とも連携を取り避難先を確保等の対応に専念した。

福祉課長 福祉避難所として老人福祉センター、保健センター対応。災害時における福祉施設の整備、運営に関する協定をるんびに園、しゃくなげ、社協と結んでいる。早期要支援体制として避難場所や手段を関係者、地域と共に再度個別計画を協議し見直していく。

危険な状態になっている空き家の現状と対策は



池田和幸
議員

町長 担当課もしっかり取り組んでもらいたと思い、早急かつ全力で取り組んでいくと約束する

議員 町内における空き家の現状は、7月末では228戸である。空き家となる要素はこれからも増加すると考えられ、危険で倒壊の恐れのある空き家が存在している。早急に解体や除去等を行わなければならない家屋の数は、

建設課長 緊急性のある家屋は3件。

議員 空き家解体に際し補助金支給した件数が19件とあるが、支給できなかった件数とその理由は、

建設課長 不良度判定を行い、管理不全な空き家でないかと判断され、申請が取り消された件数が5件。

議員 所有者がわからないものは、

建設課長 所有者は全て確認がとれている。

議員 特定空き家に該当する家屋数と管理不全な空き家数は、

建設課長 特定空き家

6件と管理不全な空き家23件。

議員 今まで勧告等の措置が行われたのか。

建設課長 平成25年以降、助言指導が44件、勧告が6件。

議員 町道に空き家があつて、車、人、家屋等に被害があつた時には行政としての責任は何もないのか。

建設課長 町道は町が管理しているので、

空き家の一部分が飛んできた場合は撤去を行う。責任については、所有者にお願いをする。

いをする。

議員 取壊し後の固定資産税の減免制度を実施する自治体もあるが。

町民課長 条例で減免を制定すれば可能。

議員 嬉野市では県内で唯一「代執行」をされているが。

建設課長 現在検討している空き家寄附制度を早急に構築して、所有者から寄附を受けた土地等を町の財産とした上で解体を行いたい。

町長 町民の皆さんの安全・安心を守らな



特定空き家に指定されている家屋

ればならない。我々自治体に任された責務であり、代執行の議論も想定していく。

議員 困っているのは地元。前向きな責務でお願いしたいが。

町長 危険を除去することが一番大事で、担当課もしっかり取り組んでもらいたいと思う。早急かつ全力で取り組んでいくと約束する。

これからの選挙、投票時間等の見直しは

総務課長 選挙管理委員会との協議で、早急に行うべきではないとの結論

議員 平成31年4月、江北町議会議員選挙の投票が行われ、投票率は71.40%で、期日前投票者は、全有権者の25.79%。総務省では、投票時間、投票所の開閉に

ついて、投票所は午前7時に開き午後8時に閉じるが、市区町村選挙管理委員会は特別な場合は、個々の投票所について一定の範囲で繰上げ・繰下げができる」と説明している。

総務課長 9月1日に町の選挙管理委員会が開催され、協議、検討がなされた。

6時から8時までの各投票所の数は、2時間のうち約200人、280人が投票され、各選挙の投票者総数のうち約5%の方がこの2時間の間に来ている。またその時間にしか来れない方や、投票率の低下もあり、投票時間の繰上げは早急に行うべきではないとの結論である。

期日前投票は、2カ所以上の期日前投票所がある所ができるので、江北町では1カ所なのでできない。



刈上正昭
ふちがみまさあき

議員

東古川に面する圃場から地下水位低下等を図るために設ける暗渠排水について

副町長 現地を視察し、どのような対策がとれるか県と協議をする

議員 東古川に面する圃場において、水田の地表残留水や地下水位の低下を図り、乾田化するための方策の一つである暗渠排水は、損傷が激しい張りブロック部分にネジ式水閘が出ている。その箇所は、堤防の天端より150cmほど低い位置にあるが、ネジ式水閘の開閉時に落水等を防ぐ昇降用ステップがないことから足を滑らせ落水することも度々あること、ネジ式水閘の口径が100ミリと大きく、開閉にも困難をきたしていること、耕作者も高齢化していることなどを考慮し、暗渠からの排水を陸上から調節でき、維持管理も容易にできる水位調整型水閘（立て水閘）の設置ができないか。



水位調整型水閘（立て水閘）の状況



張りブロックと暗渠の現状

産業課長 多面的機能直接支払交付金の長寿命化の県メニューに暗渠排水も含まれているので、それを取組んだらと考えている。

議員 この件は、のり面の浸食によって生じたもので、県に確認していただきたい。

副町長 現地を視察し、どのような対策がとれるか県と協議する。

大雨時における災害対策を行う上での排水機場、排水樋管等について

議員 本町にある各強制排水機場の排水能力は、どのような総合排水計画で定められたものか。

建設課長 鉱害農地復旧における総合排水計画では、20年に一回の確立年を基準とし、2日連続降雨320ミリで最低田面高+0.3メートルまでを許容湛水位とし、それ以上の水位を24時間以内に強制排水することで農地の効用回復を図るとされている。

分水排水計画大綱では、古川への集中排水を是正するため、町全体の排水計画を定め、臨鉱ポンプの容量の再配分と各幹線水路の効果的な井堰の管理の連携を行うとされている。

惣領分、佐留志地区

は、朽木5m³（鉱害）、鳴江4.5m³（鉱害）、3m³と国交省・1.5m³の9.5m³、また、門前と土元地区からの分水計画により城ノ井4m³（鉱害）が計画され、全体で13.5m³になった。

大西地区は、当初排水計画はなかったが、上小田地区からの分水計画により、草場と祇園川の流域からの流入を考慮し、大西3m³（鉱害）になった。

八町地区は、東古川22.5m³（鉱害）、19.5m³と国交省・3m³、西古川1m³（国交省）の23.5m³、町全体では40m³（鉱害）、34.5m³と国交省・5.5m³、になった。

議員 昨年の8月、本町では3時間で249.5ミリ、そ

の中の1時間雨量が103.5ミリで、記録的な大雨となった。近年の降雨量を踏まえ、町内の排水樋管の有効活用を含め、各排水機場の排水能力の見直しが必要ではないか。

建設課長 検討が必要と考えている。

議員 町内の幹線水路に設置しているスライド式ゲートを電動にできないか。

町長 近年の気象状況の激甚化や高齢化、また、人口減少という中で、迅速な対応が必要だということでは認識している。



電動式スライドゲート（大西）

小・中学校等のトイレの早急な環境改善を



江頭義彦
議員

町長 トイレだけは早めに改善しなければならない
教育委員会としっかり考えていきたい

議員 生活様式の変

化や住環境の改善が急速に進み、トイレの洋式化が図られている。トイレは、毎日使用する所であるが、臭い・汚い・暗い・怖い等劣悪な環境で、守られるべき生理現象でさえ我慢し、きつい思いをして、学校に登校している児童生徒がいる。将来、町を背負っていく子どもたちには、安心した学校生活を送ってほしいと強く願う。小・中学校のトイレの早急な環境改善が必要と考える。

現在の洋式トイレ設置状況は、幼児教育センターは全て小・中学校は各階1基のみであるが、いつどのような理由から改修されたのか。

幼児教育センター所長

生活様式の変化に伴い、和式トイレの

使い方が分からず、便器に座り込んで使用する等衛生的によ

洋式化が遅れている小・中学校の
トイレ状況

小学校	洋式 34%	和式 66%
中学校	洋式 33%	和式 67%

くないという理由で平成20年度全てを洋式トイレに改修した。小・中学校のトイレは、平成13～15年度に各階1基の洋式トイレを設置。

議員 新入生への対応はどのようにされているのか。

こども教育課長

新入学説明会で、和式トイレの使い方を各家庭で練習してもらうよう保護者へお願いしている。

議員 家に帰るまで

身体的・生理的欲求を我慢している子どもたちの実態について、声が上がっていないのか。

こども教育課長

小学校では、心理的要因のため学校で大便ができない子どもがいることは把握している。保護者や子どもたちから洋式トイレ設置の要望がある。中学校は洋式トイレが各階に男女とも一基しかないため、順番待ちでゆっくり使用するというのができないという声がある。

議員 小・中学校の



明るく広い洋式トイレを望む

トイレについては一日も早い対応が必要だと思ふ。町の考えは。

町長 子どもたちの

現状を考えると胸に刺さる。トイレだけは早く改善しなければなら

町政施行70年に向けた取り組みについて

町長 総合計画、総合戦略、人口ビジョンの策定の見直しの中で、位置づけをしていく

議員 2022年は

必要。

議員 人口一万人に向けた取り組み、プロジェクト「チャレンジ500」の今後の計画は。

町の知名度アップのための取組は。

町長 今年度は総合計画、総合戦略、人口ビジョンの策定の見直しをする年。その中で位置づけをしたい。住みよい町であることを進めていくことが、結果的に認知度の向上につながると思う。

政策課長 特急が停車

することは、非常に重要なこと。駅周辺での人の動きがあることが

ない。トイレの問題は、心理的・身体的と色々な所に影響する。世代に関係なく洋式化は、今の時代の流れである。教育委員会として考えていきたい。

かねまる ゆうき
金丸祐樹

議員



児童・生徒の熱中症対策について

教育長 万全な対応ができるよう考えていきたい

【議員】 8月の17日、

静岡県の浜松市で過去最高タイ記録の気温41度が観測され、その前週の一週間で熱中症による搬送者は1万2千人で死亡者は30人に及んだ。

熱中症に関する関心が高まる中、現在のわが町の児童・生徒の熱中症対策はどうされているか。

【こども教育課長】 小・中

学校では、登校時に担任が体調のチェックを実施している。また、小学校では朝食の有無をチェックしており、水筒の持参や、こまめな水分補給、塩分タブレットの配布を行っている。また、教室の冷房の調整など、環境省熱中症予防サイトで情報を収集し、屋外の授業や活動も併せて調整や指導をしている。

また、小学校では

熱中症対策に関する研修会を開催しており、中学校でも職員会議等で熱中症に関する共通理解を図っている。

【議員】 小学校は、ミ

ストシャワーがある。中学校にも設置できないか。

【教育長】 現場の方と

協議し、対策を講じていきたい。

【議員】 小学校のプー

ルについて提案だが、炎天下の最中にプールサイドでの指導は危険であるので、日よけやテントなどの設置をお願いしたい。

【こども教育課長】 水泳

の授業の際は、子供たちの体調管理は必ず行われている。また、温度についても暑さ指数などを管理している。テントの設置は、先生の判断が必要であれば設置

されるところにいる。

【議員】 熱中症は5月

から発生している。炎天下の最中、プールの中でも発生する可能性はある。県の指数とか、全国的な指数がどうかの前に、こども教育課で検証をしていただきたい。

【教育長】 少なくとも

検証はしていく。また、万全な対応ができるように考えていきたい。



小学校の手作りミストシャワー

再度問う、AED
設置について

【議員】 現在の設置場所
の確認をお願いする。

【総務課長】 庁舎、ネイ

ブル、老人福祉センター、みんなの公園、B&G、さわやかスポーツセンター、花山球場、高砂グラウンド、弓道場に各1個設置。学校関係は、幼児教育センター、うるる、小・中学校にそれぞれ1個の全体で13か所。

【議員】 前回の一般質

問で、体育館にも設置をしてほしいと要望をした。設置がされなかった理由は。

【こども教育課長】 各施

設1AEDというところで設置をしている。

【議員】 AEDは命を

救うもの。有事の際、早急に措置を行わないと1分ごとに7%から10%蘇生率が下がっていく。体育館内で心室細動、心肺停止が起きた際、緊迫した状況の中で間に合うのか疑問であ

る。実際に児童・生

徒に発生した時のことを本気で考えて、設置をお願いしたい。

【町長】 教育委員会か

ら体育館に設置をとの話はすでに受けているが、設置については必要な順番を決め、優先順位を見極めて検証をする必要がある。

【議員】 設置に関して

は、優先順位を高くして付けていただきたい。

また、熱中症の対策は、学校・行政・父兄とで協議の場を設け本気で考えてもらいたい。



高砂グラウンドのAED

町長公約 町人口1万人に向けた具体的な施策は



井上敏文
議員

町長 道路整備と併せ、早めに土地整備方針を決める

議員 山田町長の2期目の公約に「人口1万人に向けたプロジェクト、チャレンジ500」とある。このチャレンジ500とは、本町の人口をあと500人増やして1万人を目指すことだと思う。昨年の3月議会で町長は「駅南JR線路沿いの農振除外をして宅地の誘導を図るには、この地区内に車道の整備が必要であり、整備計画は令和元年度中に検討する」と答弁。その車道計画はその後どのように検討されたか。

町長 現在整備中である羽佐間水路北側の幅員4mの通学路のほかに、早い段階で車道計画を含めた土地整備の方針を出したい。

議員 現状を見ると、



羽佐間水路北側町道（幅員4m）のほかに車道計画を必要とする北側農地

地権者が宅地開発者と話を進める前に早めに車道の位置決定をする必要があると思う。車道の位置決定を急ぐべきではないか。

町長 可能な限り早く方針を出すよう指示をする。

議員 昨年、宅地開発の質問をした中で、町長は「町内宅地開

発についてのニーズ調査をする」と答弁されたが、宅地開発の議論はどこまで進んでいるのか。

町長 農業と都市開発のバランスもとっていかねければと思っています。今年度は総合計画や地方版

あり、これらと併せて方針を決める。

企業版ふるさと納税の取り組みについて

町長 個人向けふるさと納税は更に知恵を出し、企業版ふるさと納税も本腰を入れて取り組む

議員 町長に就任されてから精力的に取り組まれたふるさと納税は、3年前の寄附額が7億7千万円であったが、昨年は3億6千万円と半分になった。このふるさと納税の額が落ち込んだ理由は何か。

町長 知恵と行動が足りなかったと思う。これからは本腰を入れてテコ入れをしていく。

議員 個人向けふるさと納税にこれまで以上に精力的に取り組んでいたが、更にもう一つの手法として企業版ふるさと納税に取り組んだらどうか。

町長 現在、地域再生計画の申請の準備をしており、企業版ふるさと納税についても積極的に取り組みたい。

議員 この企業版ふるさと納税は、以前は税負担額の控除が寄付額の3割であったものを6割に増やした。しかし、企業の動きが鈍かったため、今年度の税制改正により、更に控除額を9割に広げ、期間を6年間延長した。これを機会に本町も企業版ふるさと納税にも取り組まれてはどうか。これにより企業との交流が図られ、企業誘致への糸口になれればと思う。町長の見解は。

町長 企業版ふるさと納税も有効な財源確保の一つであり、今回の制度改正を機に個別のセールズを含め本腰を入れて取り組みたい。

坂井正隆
さかい まさたか

議員



中山間地域の整備と駅周辺の整備 合わせて、駅名改称について

町長 新幹線暫定開業に合わせての駅名改称は千載一遇のチャンスでありこれが最後のチャンスと考えている

議員

江北バイパス

開通に伴い駅南周辺は、大型店舗が進出し、今でも一戸建て住宅建設が進捗している。一方旧長崎街道以北の中山間地域は、企業誘致はされたもののこの地域への農業を含めたまちづくりについては、門前く観音下線の県による工事着工を待っているところである。

町長は、町政懇談会において、2022年には九州新幹線長崎ルート暫定開業が予定されていることに鑑み、町が100歳になる30年後も活力ある町を迎えるため駅名改称による町の認知度の向上や駅周辺の整備等、駅を活かしたまちづくり、その中で肥前山口駅から、肥前江北駅へと改称すると

の説明があった。議

会での議論も始まっ

ていないのに、拙速

にすべきではない。

肥前山口駅、ここか

らは出征をされた

方々、私たち戦後生

まれの中学生、金の

卵と称され、肥前山

口駅から、集団就職

列車に乗って、親元

を離れていった。肥

前山口駅は郷愁を誘

うノスタルジックな

駅である。

30年後は今より温

暖化が進み局地的に

大雨が降る、線状降

水帯、また多くの台

風の発生が考えられ

る。わが町は牛津川

と六角川にかこまれ、

満潮と重なると河川

の氾濫が考えられ、

平坦地等の浸水が考

えられる。駅名改称

する事によってこの

様な災害を食い止め

ることができるのか。

安全、安心の町づく

り、このことが第一

ではないか。

町長 安全、安心とい

うのは第一だと思っ

ている。しかし町がなす



肥前山口駅名、変更ある？ない？

年かけて整備がされた。

この路線について

は、議員にも協力を頂

き、期成会を結成し、

早期の事業着手に向け

て進んで行くことが町の地域活性化、小田地区の地域活性化にもつながると思う。

議員 駅名改称については、私自身公約として掲げ、当選をさせていただいた。町民皆様の約束として掲げていたことであり、色々な意

見を聞いた上で最終的には、私が判断していきたいと思っている。
JRの方では暫定開業が2022年に行われる。単純に町だけの都合で改称すると、2億5千万円位かかるが、暫定開業に合わせて1億円程度になると思う。千載一遇のチャンスだと思っている。

中山間については

議員

中山間地域の整備は。

町長

今回の公約も今ここで、具体的に申し上げられないが、中山間振興に資するようなものも、水面下では取り組んでいる。

議員

町長の意志の固さは解かるが、駅名改称についてはやはり拙速にすべきではないということをお願いし上げて終わる。

一般会計及び特別会計歳入歳出決算審議

特別委員会において審議の結果、令和元年度決算を全員賛成で認定

一般会計決算

歳入

問 ふるさと応援

寄附金で、前年度は5億2千万、元年度は3億5千万と制度改正でかなりの減となっているが、財政係としての見解は。

政策課長 重要な財源であり、本当に真剣に取り組まなければいけないと認識している。

町長 危機感とか時代認識、状況の変化等、役場全体で共有できないと指示待ちみたいになる。しっかりとテコ入れをしていく。

問 過疎自立促進の特別事業債を複数の事業財源として使用しているが、新過疎法で過疎債がなくなった場合は。

政策課長 全ての事業を見直し、廃止も含めて検討を行っている。

歳出

問 交通安全対策

費の負担金、交付金の不用額が多いようだが。

総務課安全安心係長

高齢者運転自主返納の申請者が少なく、使う方が全額ではなかった。

問 災害ごみの処理費用はどれくらいか。

環境課長 西部クリーンセンターへの受入

の量は約40トンで、かかった費用は、運搬等で771万5千円、処分委託料425万7千円。1トン当たり1万9千円。

問 昨年8月の豪雨時には災害保険は支払われていると思うが。

総務課安全安心係長

災害対策費保険金で106万453円の収入で、元年度は3回分。



災害ごみの保管場所（鳴江公園駐車場）

問 会計管理費の

手数料が前年度より倍以上上がっているが。

会計室長 佐賀銀行

の派出の手数料が佐

賀銀行の要望により、50万から100万に増額となった。

問 MCA無線

の蓄電池は、この時

期に交換する必要があったのか。

総務課長 MCA無線局整流器用蓄電池

更新業務委託料で188万4,300円を計上している。更新はいざとなった時、放送ができないと困るため。

問 空き家バンクに登録した後の対応は。

政策課長 貸された方と借りた方の間で調整する必要がある。色んな問題がある場合は、一緒になって考えていく。

問 高齢者運転免許証自主返納事業で、令和元年度は34名返納しているが、交通事故発生状況では件数が増加しているが。

総務課長 交通事故の高齢者が占める割合が高くなっている。事故防止の観点も含め、返納し易い環境を作り、事故防止の

啓発活動をする必要がある。

問 今回の台風で400名近い方が避難された。防災マツト・毛布の再利用等の考えは。

総務課長 持ち帰った分をもう一度使用するか、避難所に来る場合の持参物について広報をしていく。

問 在宅医療当番制事業で350万3千円上がっているが、これは3町合計の分か。

福祉課長 3町合計の金額で、町の分は83万円ほどの負担。

問 ごみ減量化対策事業に取り組む中、実績成果の推移は年々増加の傾向にあるが。

環境課長 一般廃棄物には事業系も含まれていて、事業系の増加が要因で、一人当たりは減っている。
問 クリーンステー

ションの設置先は。

環境課主幹 設置補助金は土元・宿・下分・上分の4地区。

問 今後も設置補助金を継続するのか。

環境課主幹 今年度は1件の申請があつていて、これからも続ける。

問 ふるさと納税が減少している結果を含めての産業課の考えは。

産業課商工係長 年々減ってきているのは現実だ。知恵がなく行動力が足らないと自覚をしている。今後は新規返礼品の開発、新事業者の発掘、期間限定の商品の造成を考えている。

問 農業者年金で推進の対象者になる方は何人か。

農業委員会事務局長 専業農家の中の家族も入れる。推進をしている方が15人から20人。

問 遊休農地・耕作放棄地は発生していないとあるが。

農業委員会事務局長 農用

地区域の中には遊休農地は発生していない。中山間地で既に荒廃している農地は、荒廃農地として農用地から除外している。

問 みんなの公園整備事業の中で、佐賀県緑の景観づくり事業補助金が歳入に載っていたが、他にも今まで使われていたのか。

建設課長 事業補助金としては、県の事業である。これまでの実績としては、鳴江公園の植栽あたりに使った。

問 空き家等の適正管理事業だが、管理不全になる前に何らかの補助がでないか。

建設課長 現在、管理不全の空き家に対して

は、申し出があつたときに判断を行い、管理不全と判定された場合は補助を行っている。

問 空き家の処理が困っているとの声がある。

町 町へ寄附できないか。

町長 空き家の寄附制度については、公約にも掲げている。早い段階での制度の創設をしたい。

問 佐留志団地の空き家になった箇所を一部高砂グラウンドの駐車場として開放はできないか。

建設課長代理 現在、住宅用地として敷地活用している。

今後、退去者が整った棟から用途廃止をできる状態になれば、普通財産ということとで駐車場としての貸付は可能だが、現在のところ難しい。今



みんなの公園 竣工式

後の検討課題。

問 みんなの公園のPRだが、外に向けての発信は全て指定管理者に任されているのか。

建設課長代理 SNS等媒体等を活用したイベントやチラシを使った宣伝は指定管理者のほうで行っている。町

令和元年度決算の認定

としても、名刺の裏に公園を印刷したりして、宣伝活動は少なからず行っている。

問 今回の台風で給食センター内が停

電になった。他の自治体では、給食センターは蓄電池等の準備がされている。

こども教育課長 今回の停電は、小学校内

の送電線が切断されたという事で、幸い臨時の復旧で通電ができた。

冷蔵庫等の予備電源となると多額の費用がかかる。研究をさせていただきたい。

問 今回の事業を踏まえて、今後不足が出た際、紹介キャンペーン等を行うのか。

こども教育課長 待機児童が出ないように、引き続きキャンペーン等は実施していき、保育士の確保には取り組んでいく。

特別会計決算

無資力臨鉱ポンプ

問 8月に開催された幹線水路冠水対策協議会で、各地区の水利委員参加の中、台風や大雨時のゲート等の操作をする管理者に傷害保険はか

けられないのか。

副町長 次期の予算等で計上する。

問 この協議会を踏まえて、灌水及び地区の委員との合同会議を早急に開催してほしいが。

建設課長 地元と詳細に意見交換し、委

員会に諮っていく。

問 灌水の今後の計画も資料として添付を。

建設課長 排水施設と同様、更新計画を立てる。

問 既存施設を活用した洪水被害軽減対策の中で、排水機

場の遠隔操作化、樋管等の無動力化、フラップゲート化の情報。

建設課長 国からは、六角川プロジェクトが示されたが、遠隔化等の情報は出ていない。



給食センター



朽木排水機場 電動ポンプへの移行

国民健康保険

問 一般被保険者の療養給付費で、補正額が大きいのに不用額が出ているのは。

福祉課長代理 医療給付費を見込んで1月に申請していたが、それほど給付費が伸びなかった。

問 医療費の抑制につながった施策の評価は。

福祉課長 ポイント事業として、百歳体操を実施した。

町長 地道な積み重ねが中・長期的に見て医療費の削減になっている。

後期高齢者医療

問 健康調査の受診者が対前年比94人の増となっているが。

福祉課長 長期入院されている方とそれ以外の約1,300人の

方に通知を出したため、受診率が上がった。

下水道事業

問 公共下水道及び農業集落排水の接続率は。

環境課下水道係長 公共

下水道は、区域内の人口が7,488名で、接続者が5,885名

で78.5%で、農業集落排水は区域内の人口が1,697名で、

接続者が1,541名で90.8%です。

問 浄化槽の施設委託料の自身は。

環境課下水道係長 町で管理する浄化槽は、令和元年度は93基

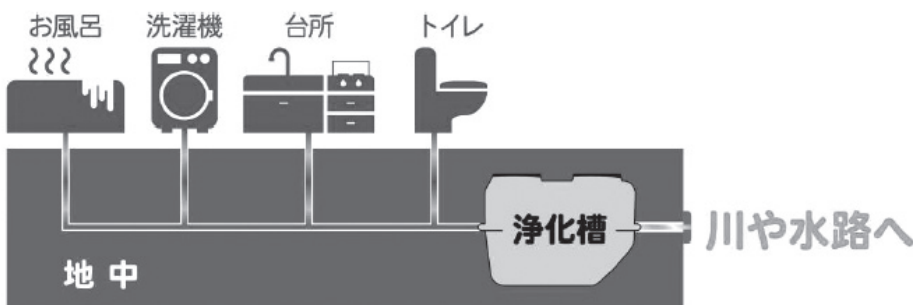
で、年間の保守点検と清掃の管理委託料である。

問 これからの計画で、住宅の誘致とかで浄化槽を事業としてできるのか。

町長 浄化槽は有効

- 日々のくらしで使ったあとの全ての水をきれいにする設備
- 下水道がない場所で各戸に設置する
- 下水道と同じくらい、水をきれいにできる（BOD20mg/L以下）
- 平成29年3月時点で全国で1,170万人が使用している

浄化槽とは？



な手段だと思う。環境の向上やコストの削減、管理の面を含めて早めの結論を出す。

問 浄化槽の処理管理委託料の自身は。

環境課下水道係長 人槽の大きさで回数は決められ、7人槽で年3回の保守点検、年1回の清掃が法律上決められている。

町長 合併浄化槽の管理の在り方で、公共管理型だけでなく、個人管理型も一緒に検討したい。

問 経営的な観点から、下水道事業長期計画等の作成は。

環境課長 下水道は農集が平成7年から事業実施をし、令和10年で償還が終わり、公共は令和14年に処理設備で起債した分が終わる。5年、10年の維持管理の更新計画はあるが、長期に亘っては県の広域化も

含んで考えていく。昨年、佐賀県生活排水処理広域連携推進協議会が発足され、県内を5地区に分けて広域連携を図ることになっている。

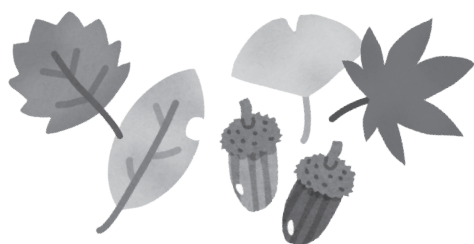
人権擁護委員の推薦

推薦

「鶴崎智子」氏を推薦

固定資産評価審査委員会委員の選任

「川久保義文」氏を選任



総務常任委員会

問 新過疎法になつたら事業が切れてしまうのか。

政策課長 現行の過疎法に基づいているので、白紙になるのではと考えている。議員立法なので要望書を出すようにしている。我が町も対象となるように町長も活動している。

問 避難所整備事業について説明を。

総務課長 新型コロナウイルス感染症の第3波に備えてマスク、消毒液を購入する。

問 前納報奨金の件で、毎年、前納者は僅かながら増えている。なぜ廃止するのか。

町民課長 納税意識の高揚、財政基盤の安定等の目的が達成されたこと、特別徴

収の方との不公平、毎月納付の方との不公平感がある事を踏まえて廃止したい。

問 紙巻タバコの場合、他のタバコについても値上げの情報はないか。

町民課長 今年の10月に1本1円上がり、来年の10月に税額が1本1円上がる予定。

問 文化芸術スポーツイベントの指定行事について、文化庁がチェックしているのか。

町民課長 開催する際には手続き等の必要はなく、中止した場合に寄附金控除の対象となるため、主催者が文化庁に申請する必要がある。

問 高齢者への手作りハガキは何名に送っているのか。

福祉課長代理 75歳以上の在宅の高齢者のみで1,295名。



手作りの絵手紙（中学校）

問 町民体育大会、交流事業の代替事業は当初の予算の範囲内で計画するのか。

こども教育課長 つながる事業については既存の予算残を調査し、予算の範囲内で代替事業を実施する。

問 新しく小規模保育所を立ち上げられることについて。保育事業に適する場所なのか、安全面を考慮して検討されたのか。

こども教育課長代理 今回の計画では出入口の前に飛び出し防止のポールをつけて安全対策をする。保育士と設計士が何度も現場に来ており、安全第一で事業を実施される。店舗の紹介は町の方からしている。

問 保育士の補充人員の確保は。幼児教育センター所長はつきり決まっていない。会計年度任用職員ということで以前より多く人を入れてもらっている。うまく回していけるよう考えていきたい。



江北バイパス南の小規模保育所建設予定地



改修が待たれる小学校

問 新型コロナウイルス対策について。学校への町独自の対応策は。

主任指導主事 ストレスを感じている子供たちもいることから、スクールカウンセラーの時間を50時間ずつふやしている。

問 小学校校舎長寿命化改良事業について。検討委員会のメンバーは。

こども教育課長 検討しているが10名以内で考えている。

産業常任委員会

一般会計補正予算
(第7号)

問 プレミアム付商品券事業(第2弾)ですが、今回第2弾では1人3冊まで、5,000冊の販売となっているが、前回は告知のタイミングに対し、売れ行きが早く、購入しにいったときには売り切れており、購入できなかった方もいた。早い者勝ちのような形になったが、今回はその対策とその対応を考えているのか。

産業課係長 前回については、購入冊数を増やす事に対しての告知期間が短かったのが、今回は全戸配布のチラシを出来るだけ早く回覧し対応したい。

問 交通量調査に新型コロナウイルス

感染症対応地方創生臨時交付金の財源が充てられるのか。

建設課長代理 補助事業

業のメニューにあり、財政係と協議した結果、財源充当することとした。

緊急自然災害

防止対策事業は公共土木施設災害復旧事業でできなかったのか。

建設課係長 杵藤土木

事務所と協議したところ、公共土木施設災害復旧事業に該当しない。但し、起債事業で対応できるようなので、今後、財源振替を行いたい。

新規就農者に

対するハウスの建設費等以外の補助は。

産業課長 交付金事

業、農業次世代人材投資事業があるが、研修中は準備型として、県からの補助、卒業後の経営開始型については、国庫で

あるが、町を通しての補助となる。

下水道特別会計
補正予算(第2号)

補正理由について

の詳しい説明を。

環境課下水道係長 公共

下水道施設ストックマネジメント事業は、当初予算で機器単価特別調査費200万円、管路点検調査費300万円で委託料を計上していたが、このうち機器単価特別調査費200万円を工事請負費に流用するもの。

機器単価特別調査

費の減額の理由は、従前、ポンプ等の機器の設計単価は、直接メーカーから見積りを徴収し、3者比較などをして決定していたが、国土交通省の通達により、やむを得ない場合を除き、専門の調査機関に委託し機器の単価

を決定するよう指示があり、調査委託を実施したが、どの業者からも辞退届が提出され、実施できる見込みがないため。したがって機器の設計単価の決定は、これまで同様の対応とし、当該事業費を他に予定している施設

の工事費に流用し、事業進捗を図りたいと考えている。

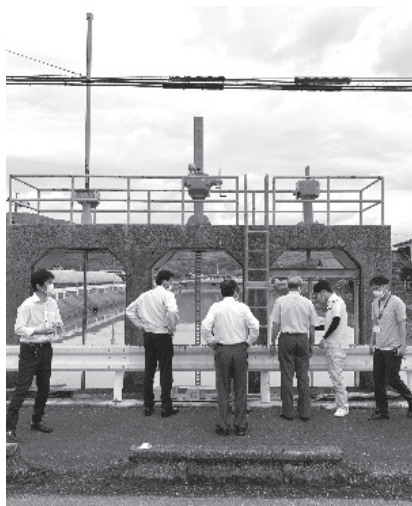
また、浄化槽維持

管理費の修繕費の増額については、ブロワの修繕や浄化槽内の亀裂の修繕で、当初予算のほとんどを費やしている状況。例年の実績から、今

産業常任委員会 現地視察



八町地区の農作物被害



惣領分、八町地区の水門

後もブロワの修繕等が発生することが予想され、30万円ほど必要である見込みのため増額するもの。

条例改正

一、江北町の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例を改正する条例

一、江北町国民健康保険条例の一部を改正する条例

(全会一致で採択)

意見書

一、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

一、地方財政の充実・強化を求める意見書

(全会一致で可決)

お月見NIGHT in みんなの公園

お月見NIGHT

10月2日、みんなの公園でお月見ナイトが開催されました。

江北町で採れた芋を使った料理の振る舞いや、37カフェでのクラフトビール販売、新米の試食、中華料理、ピザ、ハンバーガー等、が出店されました。

音楽のイベントも行われ、夜の公園で満月を眺めながらのフルートの演奏は、幻想的でした。

その日の入場者は、700人を超しており大盛況のうちに幕を閉じました。



編集後記

新聞の見出しで、頻繁に目にする『コロナ禍』。耳にした際、『コロナ化?』『コロナ鍋?』など違和感を覚えた。その(か)が禍の文字と知り、何ともネガティブな気分になったものだ。災いと禍いでは同じ読みでも明確な違いがあるそう。災いは、地震や台風などの『阻止できない』災害に使われ、禍いは、人の手や努力などにより『阻止できる』災害に使われる。マスクの着用や手洗い、ソーシャルディスタンスなど、生活様式は随分変わったが、人の手や努力により感染予防や、感染の拡大が抑えられていると思えば、『禍』の文字もポジティブな響きを感じる。

『ああ、なるほど、そうだ』この国には良いことわざがある。『禍い転じて福となす』(金丸)

議会広報委員会

委員長 池田 和幸

副委員長 三苫 紀美子

金丸 祐樹

江頭 義彦

石津 圭太